

ご挨拶

副校長 竹下 徹



FUKUOKA KAISEI GIRLS' HIGH SCHOOL 2025.6

我が家の庭の紫陽花も鮮やかな色の花を咲かせています。このところめっきり暑くなっていますが、梅雨の時期は冷える日もあります。お風邪などめされませんように皆様どうぞお健やかにお過ごしいただきたいと思います。

さて、去る5月12日（月）に体育会が開催されました。昨年に引き続き平日開催でしたが、快晴に恵まれ、たくさんの保護者の皆様、地域の方々においていただき、盛況のうちに終了でき大変嬉しく思います。今年度の体育会のスローガンは、「Lilac～最高の仲間と栄光へ～」でした。ライラックの花言葉は、「友情」・「絆」・「希望」そしてハート型の葉は「愛」を表していると言われています。その花言葉通り、全校生徒の「友情」や「絆」を感じることができる体育会となりました。短い準備期間の中、実行委員長をはじめ、両団の団長やリーダーの皆さんたちが練習内容や目標を明確に示してくれたからこそ、団の人たちは何をやらなければならないのかがはっきりと分かり、当日を迎えることができたのです。その結果、体育会に来ていたいの方々はもちろん、参加した生徒の皆さんにも感動をもたらすものとなりました。次の大きな学校行事である「海星祭」でも体育会のような「友情」や「絆」をもって臨んでください。

友情や絆、希望、愛は人間関係を築く上でなくてはならないものですが、スマホが発展してきた今は気軽に連絡が取れる利点もありますが、それが人を傷つける刃になる可能性もあります。ゆえに、以前とは全く違った様相を呈しており、人と人との繋がりや言葉の持つ力を考え直してみる時期かもしれません。

ここで私的なエピソードを紹介させてください。数年前に家族とニューヨークを訪れた際、滞在していたホテルの部屋にレコードプレイヤーと数枚のレコードが置いてありました。そのうちの1枚が私の好きなアメリカのフォークデュオ、サイモン&ガーファンクルのレコードで、そのレコードには、「Bridge Over the Troubled Water」、日本語タイトル「明日に架ける橋」が収録されていました。1番の歌詞のみ英語と日本語で紹介します。

When you're weary, feeling small, when tears are in your eyes, I will dry them all

I'm on your side, oh, when times get rough, and friends just can't be found

Like a bridge over troubled water, I will lay me down

Like a bridge over troubled water, I will lay me down

君が疲れて小さな存在だと感じ、涙が溢れそうな時も、私が涙を拭いてあげよう

つらい時も、そして友達が見つからない時も僕は君の味方になろう

荒れ狂う川にかかる橋のように、私は自分の身を捧げよう

この歌は50年以上前の歌ですが、人間の根底にある他人への気持ちや思いやりはいつの時代も変わらないものであることを認識すると同時に、これだけ人のことを思える気持ちが今の時代にこそ特に必要なのではないかと感じています。

これから長い人生の中で、辛い時や落ち込む時もあると思いますが、そのような時はこの歌を聴いてみてください。テクノロジーが今ほど発展していなかった時代に書かれた歌だからこそ、「人と向き合うこと」に関して何か新しい気付きがあるかもしれません。そして誰かが元気がない時や困っている時は、この歌に出てくる「I」になってみませんか。自分が落ち込んでいる時や、どうしていいか分からぬ時に、誰かがあなたのための「I」になってくれることでしょう。まずは自分から愛を持って周りの人に接することで、友情や絆は深まり、時にそれが誰かの希望となることもあるのです。

体育会

体育会実行委員長 3D竜口真央美

体育委員長として、全校生徒の思い出に残る体育会を作り上げるために、どうしたら皆が体育会に全力で参加できるか、どんな声かけをしたら良いか、どんな競技を加えたら良いかを思考しました。今年は宅配便リレーを加え、練習期間から応援の声がして、体育会当日も盛り上がっている姿を見て凄く嬉しかったです。練習期間の中では皆へ上手く指示を伝えられないことも厳しいことを言う日もありました。生徒の気持ちやその時の状況を考え、皆に寄り添えるように意識しました。上手くいかないときでも皆が指示を聞いて動いてくれて、全員のためにもっと頑張りたいと感じました。体育会では楽しんでいる姿、たくさんの人に「ありがとうございます」と言ってもらえて、とても嬉しかったです。体育会を通して皆の協力をとても感じ、良い体育会になったと思います。改めて、生徒の皆さん、最後までついて来てくれて本当にありがとうございました。皆さんのお出でになっていたら嬉しいです。

生徒会長 3D山田 彩紗

体育会の閉会式で「楽しかったですか！」と聞くと、元気な返事が返ってきてとても嬉しかったです。支えてくれた仲間や先生方に心から感謝します。心に残る最高の体育会になりました！

体育会担当 教諭 森 香織

今年度の体育会スローガンはLilac。グラウンドそしてライトアクト、生徒全員の花が咲き誇った一日でした。生徒会長の山田彩紗さん、体育会実行委員長の竜口真央美さんを中心に主体的な体育会だったと嬉しく思います。開会から閉会まで疲れることのなく、楽しそうに笑う生徒の皆さんの表情がとても印象的でした。振り返りには「青春の1ページでは足りないくらい…」と書いてありました。皆さん一生懸命頑張る姿に感動し、かけがえのない一瞬を分かち合わせていただいこと、心から幸せに思います。海星で経験していく行事の数々が今後のみなさんのライフステージにいかれますように。保護者の皆さん、たくさんのご声援、ありがとうございました。



体育会

赤団団長 3A 大神 詞春

体育会お疲れ様でした！

初めは、100人を超える団をひとつにまとめられるか不安でした。しかし、生徒一人一人が協力してくれたおかげで演舞賞を受賞、そして念願の総合優勝を果たすことができました。学生生活最後の体育会をみんなと作り上げることができて幸せでした。本当にありがとうございました！



白団団長 3C 中村 天

私は、昨年体育会に出れず今年やっと出られてずっと憧れだった団長になれました。団長をする上で、今までまとめたことのなかつた人数をまとめ指示をすることを経験し、不安も多くありました。しかし、本当に白団全員が指示する前に行動をしたり、友人同士で注意し合ったりするのを見て、心から感心しました。勝たせてあげられなくて、申し訳なさと悔しさで涙が出ました。共に泣いて慰め合って、共に笑って喜んで、たまにぶつかって、でもまたふざけて笑い合って。そんな仲間がいることに気づかせてくれる体育会でした。人生の思い出の中に1ページじゃ足りないくらいの最高の体育会だったし、生徒全員、先生方もみんなキラキラしていて眩しかったです！色んな人に感謝を伝えたいです。

本当にありがとうございました！



赤団ダンス長 3A 秀島 希依

体育祭を通して、仲間との絆がより深まりました。勝ち負けよりも、同じ目標に向かって努力し、励まし合い、時には悔し涙を流す。そんな一日を過ごせたことが、何よりの思い出です。

ダンスでは朝練、放課後練習などを通じみんなをまとめることの難しさを感じました。本番では自然と声をかけ合い、お互いを信じて支え合えたことが、体育祭の一番の成果だと思います。

この経験を、これから学校生活や将来にも活かしていきたいです。



白団ダンス長

3D 大竹理歩

白団ダンス長として、今年の体育会で優勝できたことを心から嬉しく思います。練習は大変なこともありましたが、生徒やダンスリーダー含め全員が一つになって頑張ってくれたおかげで、最高の演技ができました。みんなの努力と笑顔に支えられて、素晴らしい時間を過ごせました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



留学報告

2A 古山田 莉

ニュージーランドへ留学に来て、3ヶ月が経ちました。最初の頃は、英語での生活や授業、文化の違いに戸惑うこともありました。現在は少しずつ生活にも慣れてきました。通っている現地の高校では、英語、数学、音楽、家庭科など幅広い科目を履修しています。特に印象的だったのは、授業の中で生徒の意見や個性がとても尊重されていることです。ディスカッションやプレゼンテーションの機会が多く、自分の考えをしっかり持って発言する力が養われています。学校では様々な国の人があります。私はいつもドイツ人とニュージーランドの友達といでのドイツ語と英語を聞きながら生活しています。ホストファミリーとの生活もとても充実しており、週末にはホストブラザーと一緒に買い物に出かけたり、ニュージーランドならではの自然の中で過ごしたりしています。時には文化の違いから驚くこともあります。受け入れ、学ぶ姿勢を大切にすることで、より深く現地の暮らしを理解できるようになってきました。この3ヶ月間で、語学力の向上はもちろんのこと、異文化に対する柔軟な対応力や、自立した生活力も身についてきましたと感じています。今後も、より積極的に学びと交流に取り組み、さらに多くの経験を積んでいきたいと考えています。

